

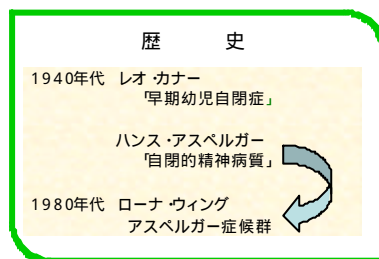
今日を楽しく生きる



アスペルガー症候群の方たちも、社会の中で生活していかなければならないし、身に付けなければならないこともたくさんあります。しかし、親御さんが将来のことばかり考えて、「これもしなさい」「あれもしなさい」と一生懸命に課題を与えたり、ストレスをかけたりすると、とてもつらいんです。いつも将来のために考えなくてはならない。そうすると明日のための今日ばかりになってしまいます。今日のための今日というのがなくなってしまうのです。

将来の不安のために今日を一生懸命させるというのではなくて、“今日を楽しく生きる”ことを考えるのが大切です。常に“明日のために”ではなく、毎日毎日が楽しく送れることが大切だと思っています。

アスペルガー症候群の歴史



アスペルガー症候群の概念は、1944年にオーストリアの小児科医ハンス・アスペルガーがいう論文を出したことに由来します。

同時期に、アメリカの精神科医レオ・カナーが「早期幼児自閉症」という概念を発表しました。

しかし、当時、英米の影響が強まったこともあり、英語で発表したカナーの論文が注目され、ドイツ語で発表したアスペルガーの論文は注目されませんでした。

ところが、1981年イギリスの児童精神科医ローナ・ウィングという人が、疫学的な研究をしている最中に、自閉症とは言い難いけれど自閉症的な子どもさんをたくさん見つけたのです。

そして、アスペルガーの業績を紹介し、「アスペルガー症候群」と名付けたのです。

大きくなると...



幼 児 期	
<ul style="list-style-type: none"> 集団参加ができていく 1歳半健診、3歳児健診では“問題なく”通過することが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 視線が定まりにくい 愛着の発達が弱い 親に抱っこして欲しくて泣くとか、親がいないと泣くということがない。 一人遊びを好む マークや文字への興味が強い
<ul style="list-style-type: none"> 他の子と遊べない 多動が目立つ かんしゃくを起こす 睡眠障害 不器用が目立つ 	
学 童 期	
<ul style="list-style-type: none"> 自分のことが分かり始める 特別な教育的配慮を受ける機会に恵まれず通常学級で学ぶことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 学業成績は非常に優秀な場合も、そうでない場合もある。 「あーあー自分はどうせだめな人間や」「死んだ方がましや」「生きていてもしゃーない」などと言いつつ出さずともある。 「向こうの方で話しているのは、俺の悪口を言ってるに違いない」と思うようになってしまうこともある。
<ul style="list-style-type: none"> 学習障害と合併することもある 被害的に思うようになる 常識が理解できずトラブルになることもある いじめられやすい 	
青 年 期	
<ul style="list-style-type: none"> 自己像の確立ができない これまでの失敗経験の積み重ねから、重大な問題・障害が併発しやすい（二次的な問題が生じやすい）。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価がとて低く被害的になっている、ときに、暴力的になることもある。 なかなか現実の世界で生きていけないので、空想病、ファンタジーの世界に入ることもある。 ※妄想とは異なる
<ul style="list-style-type: none"> 被害的、暴力的になることもある 統合失調症と誤診される場合もある 	

参考・引用文献

自閉症について

- 1) 佐々木正美 他監修 自閉症の人たちを支援するということ 朝日新聞厚生文化事業団 2001
- 2) 佐々木正美 著 自閉症療育ハンドブック 学研 1993
- 3) 全国知的障害養護学校長会 編 自閉症児の教育と支援 東洋館出版社 2003

高機能自閉症・アスペルガー症候群について

- 4) 内山登紀夫 他編 高機能自閉症・アスペルガー症候群入門 中央法規 2002
- 5) クリストファー・ギルバーク著 田中康雄 監修 アスペルガー症候群がわかる本 明石書店 2003
- 6) 司馬理英子 他著 ADHDとアスペルガー症候群 主婦の友社 2003
- 7) 杉山登志郎 編著 アスペルガー症候群と高機能自閉症の理解とサポート 学研 2002
- 8) トニー・アトウッド著 富田真紀 他訳 ガイドブック アスペルガー症候群 東京書籍 1999
- 9) 吉田友子 著 「その子らしさ」を生かす子育て 中央法規 2003
- 10) ローナ・ウィング 監修 アスペルガー症候群を知っていますか? 日本自閉症協会東京都支部 2002

特別支援教育関係

- 11) 落合みどり 著 十人十色なカエルの子 - 特別なやり方が必要な子どもたちの理解のために - 東京書籍 2003
- 12) 國分康孝 監修 教室で行う特別支援教育 図書文化社 2003
- 13) 杉山登志郎・原 仁 共著 特別支援教育のための精神・神経医学 学研 2003
- 14) 吉田昌義 他編著 つまずきのある子の学習支援と学級経営 東洋館出版社 2003

大人・子どもの手記など

- 15) ウェンディ・ローソン著 ニキ・リンコ 訳 私の障害、私の個性。 花風社 2001
- 16) キャッシー・フープマン作 代田亜香子 訳 ベンとふしぎな青いびん - ぼくはアスペルガー症候群 - あかね書房 2003
- 17) グニラ・ガーランド著 中川弥生 訳 あなた自身のいのちを生きて クリエイツかもがわ 2003
- 18) ケネス・ホール著 野坂悦子 訳 ぼくのアスペルガー症候群 東京書籍 2001
- 19) ドナ・ウィリアムズ著 河野万里子 訳 自閉症だったわたしへ 新潮社 1993

その他

- 20) 國分康孝 監修 ソーシャルスキル教育で子どもが変わる 図書文化社 1999
- 21) ことばと発達の学習室M 編著 ソーシャルスキルトレーニング絵カード5 エスコアール 2001
- 22) 高橋三郎 他訳 DSM-TR 精神疾患の分類と診断の手引 医学書院 2002
- 23) L.ロン ハバード 原作 学び方がわかる本 ニュー・エラ・パブリケーションズ・ジャパン 2003
- 24) 21世紀の特殊教育に関する調査研究協力者会議 21世紀の特殊教育の在り方について -一人一人のニーズに応じた特別な支援の在り方について- (最終報告) 2002
- 25) 特別支援教育の在り方に関する調査研究協力者会議 今後の特別支援教育の在り方について (最終報告) 2003
- 26) 文部科学省 小・中学校におけるLD(学習障害), ADHD(注意欠陥多動性障害), 高機能自閉症の児童生徒への教育支援体制の整備のためのガイドライン(試案) 2004
- 27) 奈良県立教育研究所 特別な教育的支援を必要としている子どもたち LD(学習障害)・理解・啓発ガイドブック・ 2002
- 28) 奈良県立教育研究所 特別な教育的支援を必要としている子どもたち ADHD(注意欠陥多動性障害)・理解・啓発ガイドブック・ 2003

27)と28)は、奈良県立教育研究所のホームページにも掲載しています。